

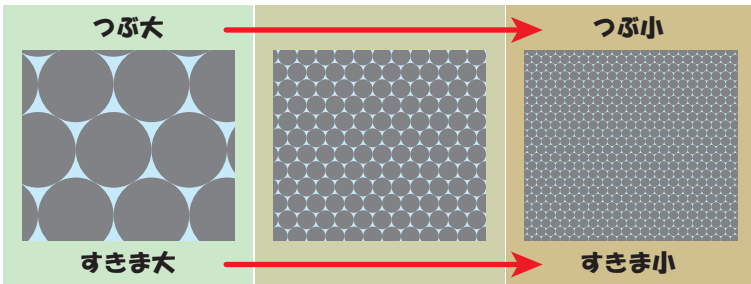
1. 流れない水はどうなるの？ ① - しみこむ

川で行われた大きな工事



土の地面なら、水はかなりしみこむ。アスファルトには、全然しみこまない。

川に近づくと、ふたごの音して



つぶが小さくなると、すきまも小さくなるので水がしみこみにくくなる。

川に近づくと、農業

川に近づくと、漁業や工業

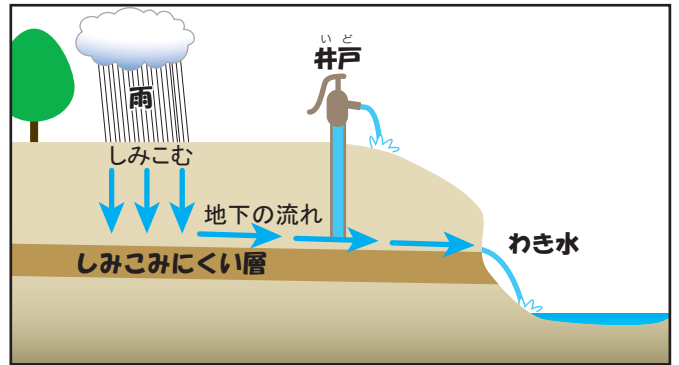
(2) 地下を流れて、またわき出す

地面にしみこんだ水は、そのままどんどんもぐっていくのでしょうか？

土の中でも、しみこみやすいところと、そうでないところがあります。しみこみにくいところでじゃまされた水は、横に向かって流れていきます。

こうした地下水は、それほど深くないときには斜面の途中やふもと、砂利や砂地のところからわき出して「わき水」となり、川に流れこみます。

注意!!…地面からきたないものがしみこめば、地下水もよごれます。



土の中に、しみこみにくい層があると地下水は横に流れ、井戸水やわき水となることもある。



斜面の途中から流れ出すわき水。シイ十勝川「秘奥の滝」近く。



斜面のふもとから水がわき出し、小川となる。札内川、中戸篤。



川底の砂地から、砂をまき上げながらわき出す水。帯広川。



地下水をくみ上げる井戸。

付録

※1 砂(すな)：細かい岩石や鉱物のかけらで、直径2mm未満、16分の1mm以上のもの。または、それらが集まったもの。

※2 ねん土(ねんど・粘土)：岩石などが細かくなってできた、きわめて小さなつぶの集まり。粒径0.0039mm未満のもの。しめっているときついたり延びたりねばったりし、熱すると固まる。とろろ・かわら・セメントなどの原料となる。